

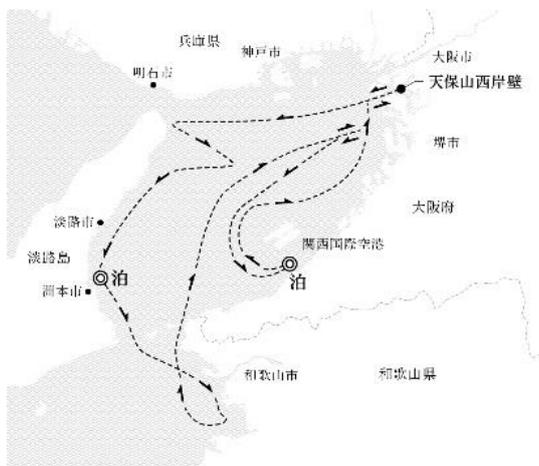
## 2025年夏、ガンツウは初めて明石海峡を越え、大阪へ 北前船と大大阪時代をテーマに特別航路を運航

株式会社せとうちクルーズ（本社：広島県尾道市、代表取締役社長：梅田幸治）が運営する「guntû（ガンツウ）」は、2025年8月に大阪湾で初めて特別航路を運航します。

国際的な交易都市として栄えた大阪で育まれた文化が、どのように瀬戸内海の島々へ伝わったのか。往時の人々の営みが作り出した奥深い時の流れを辿る船旅です。

航路は北前船の栄華と大大阪時代の足跡をテーマに2つの航路を予定しています。

### 「華やかな大大阪時代の足跡を辿る 3日間」8月22日(金)発



旧来より、水都、商都として栄えた大阪。昔からの綿花の取り扱いに加えて、工業技術の輸入、そして近くに鉄産業が盛んな堺があった影響で、紡績を中心とする重工業の急速な発展を見せた1920年代を人々は大大阪時代と呼んでいます。堺にはヤマト王権の時代から鉄に関わる産業が存在したといわれており、時代ともにその役割を変えながら現代に受け継がれています。堺の鉄の歴史と、大阪が世界第6位の国際都市となった活気あふれる時代の足跡を辿る航路です。

### 「海運を支えた北前船の栄華を訪ねる 3日間」8月26日(火)発



江戸時代中期から大阪と北海道を結ぶ経済の動脈を渡った北前船。海上安全を願う人々に篤く信仰され続ける住吉大社や、廻船の積み荷が多く集まった和歌山周辺、北前船で富を蓄えた船主が多く集まった泉佐野、これら3つの船外体験を通してその栄耀栄華を辿る航路です。



「guntû (ガンツウ)」は、「せとうちの海に浮かぶ、ちいさな宿」をコンセプトに、17 の客室を持つ客船です。2017 年 10 月の就航以来、広島県尾道市のペラビスタマリーナを母港とし、西は山口県上関沖から東は香川県小豆島沖まで 2 泊または 3 泊で周遊します。7 種類から 10 種類の定期航路を運航し、出港後は一度も他の港に着岸せず、夜は錨を下ろして島の沖合や湾で一夜を過ごします。せとうちの魅力を深掘りする特別航路も年に数本企画しており、今回の大阪特別航路もその一環です。

3 月 24 日 (月) には 8 月の特別航路を前に大阪湾内での習熟運航を行い、大阪観光局や大阪港湾局、近畿運輸局など関係者の皆さんとともに、住吉大社権宮司による海上安全のご祈禱を賜りました

#### — 記 —

##### ・大阪特別航路

「華やかな大大阪時代の足跡を辿る 3 日間」8 月 22 日(金)～24 日 (月)

料金：2 名 1 室利用時大人お一人様あたり 900,000 円～1,400,000 円 (税込)

「海運を支えた北前船の栄華を訪ねる 3 日間」8 月 26 日(火)～28 日 (木)

料金：2 名 1 室利用時大人お一人様あたり 925,000 円～1,425,000 円 (税込)

- ・販売：お申し込みは、ガンツウ公式ウェブサイト [<https:guntu.jp/>]、または専用申込書をご記入いただきメール・FAX にて受け付けております。
- ・申込期間 3 月 31 日 (月) 午前 10 時から 4 月 7 日 (月) 午前 10 時まで
- ・抽選結果発表 4 月 7 日 (月) 以降順次



株式会社せとうちクルーズ

Setouchi から世界へ、世界から Setouchi へ。

海運、造船から始まった常石グループのライフ&リゾート事業を担う企業として、guntû、ONOMICHI U2、LOG、せとうち湊のやど、ベラビスタマリーナを運営しています。自然豊かな美しい景観や歴史、多様な文化など、せとうちが育んだ心躍る場所や地域の価値を未来の資源として、建築やデザイン・インテリア、料理、調度などのしつらえ、接客サービス、イベントなどを通じ感性豊かに表現し、せとうちの魅力を世界に発信します。

<https://setouchicruise.com/>

<問い合わせ先>

株式会社せとうちクルーズ 広報担当

[scpress@tsuneishi.com](mailto:scpress@tsuneishi.com)